

授業科目名	遺 伝 学			担当教員	吉永 宗義、近藤 達郎	
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	遺伝性疾患を理解するために必要な遺伝学の基礎知識を学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 遺伝子と DNA の関係を理解できる。 2. 染色体の分類と主な染色体異常症の症状を理解できる。 3. 遺伝病の発症メカニズム（遺伝形式など）と代表的疾患を理解できる。 4. 生活習慣病などを含む疾患の遺伝学的意義について理解できる。 5. 遺伝カウンセリングでの留意点を理解できる。 6. 正確に家系図を書くことができる。 					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	現代の医学における遺伝学は、疾患が親から子へどのように遺伝するかということを扱う学問から、病気の原因究明、発症メカニズムの解明、診断方法や治療方法の発展に関与する学問へ広がりを見せている。その遺伝学の基礎を理解し、臨床の現場で遺伝学の知識がどのように必要とされているかを知ることに繋げる。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
		◎		○		
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	遺伝学の基礎知識 ・ 遺伝学とは？ ・ 遺伝性疾患の分類 ・ 家系図の書き方	講義	遺伝学の基礎について予習と復習を行うこと	1 時間	吉永	
2	遺伝子と DNA ・ 遺伝子の構造 ・ 遺伝子の発現 ・ 遺伝子の変異 ・ 遺伝子産物としての蛋白質	講義	遺伝子とは何か DNA とは何かについて予習と復習を行うこと	1 時間	近藤	
3	ヒトのメンデル遺伝 ・ 遺伝形質、遺伝子	講義	メンデル遺伝の基本について予習と復習を行うこと	1 時間	近藤	
4	遺伝子の担体としての染色体 ・ 染色体の形態と分類 ・ 染色体異常症	講義	染色体はどのような構造をしているか DNA と関連させて予習と復習を行うこと	1 時間	吉永	
5	遺伝医学におけるライフサイエンスの知識と技術 ・ 遺伝子診断技術 ・ 遺伝子診断の臨床的応用	講義	近年の遺伝学の進歩について理解すること	1 時間	近藤	
6	遺伝カウンセリング	講義	カウンセリングが必要な意味について予習と復習を行うこと	1 時間	近藤	
7	メンデル遺伝と疾患の特徴	講義	染色体異常症について予習と復習を行うこと	1 時間	吉永	
8	出生前診断の方法と問題点、病気の遺伝学	講義	遺伝する疾患の特徴について予習と復習を行うこと	1 時間	吉永	

先行履修 科目	
テキスト	新川詔夫：遺伝医学への招待（改訂第5版）．南江堂，2014．
参考文献	配布資料あり
評価方法	期末試験により評価（100%）します。
教員等の 実務経験	科目担当者両者とも、医師としての30年以上の実務経験を持ち、多くの遺伝性疾患の患者を担当してきた。また、近藤は遺伝カウンセリングなど看護に必要な知識を持ち現在も実践を行っている。